



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月9日

上場会社名 高島株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8007 URL <https://www.tak.co.jp/ja/index.html>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高島 幸一
 問合せ先責任者 (役職名) 経理ユニットマネージャー (氏名) 境 功騎 TEL 03-5217-7297
 四半期報告書提出予定日 2023年2月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	60,211	6.5	983	△21.6	1,098	△24.7	799	△23.1
2022年3月期第3四半期	56,512	△6.6	1,255	22.5	1,458	34.7	1,040	27.3

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 1,604百万円 (73.8%) 2022年3月期第3四半期 923百万円 (12.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	178.72	—
2022年3月期第3四半期	230.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	54,887	19,108	34.8	4,295.45
2022年3月期	45,176	18,477	40.9	4,129.61

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 19,108百万円 2022年3月期 18,477百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	130.00	130.00
2023年3月期	—	70.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	70.00	140.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	82,000	10.7	1,800	16.3	1,900	3.2	1,400	8.0	312.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

年次での業績管理を行っておりますので、通期業績予想のみを開示しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	4,500,973株	2022年3月期	4,500,973株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	52,363株	2022年3月期	26,677株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	4,473,300株	2022年3月期3Q	4,506,579株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
(4) 株主還元	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、2023年3月期を最終年度とする中期経営計画「サステナX（クロス）」において親会社株主に帰属する当期純利益1,300百万円の達成を目標としております。また、プライム市場の上場維持基準適合に向けた計画書において、2026年3月期までに親会社株主に帰属する当期純利益1,700百万円、ROE8.0%、ROIC6.0%の達成を目標として掲げております。

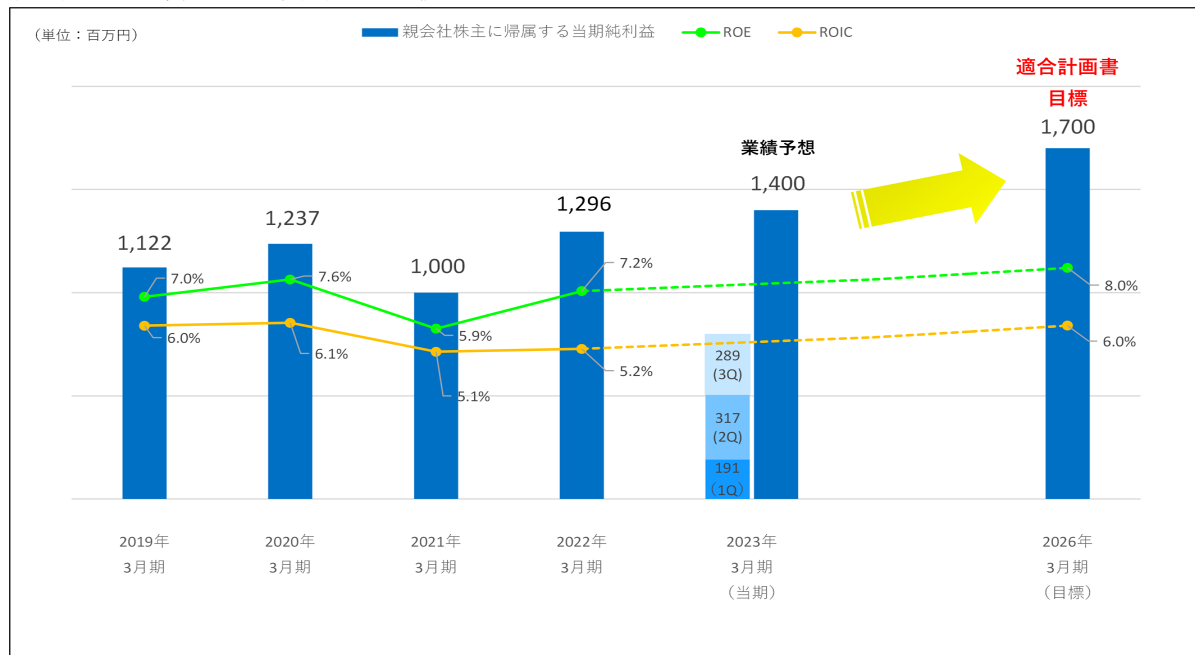
当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は60,211百万円（前年同四半期6.5%増）、営業利益は983百万円（同21.6%減）、経常利益は1,098百万円（同24.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は799百万円（同23.1%減）となりました。

売上高は前年同四半期比で増収となったものの、販売費及び一般管理費の増加により営業利益は減益となりました。販売費及び一般管理費の増加の主な要因は、適合計画書で約定した持続的成長企業への転換を狙った資本配分方針に則したM&A実施に付随する費用、業務の標準化・効率化及び内部統制強化を狙った基幹システム入れ替えに付随する費用、コロナ禍からの営業活動の再開による費用の増加によるものです。

(単位：百万円)

	前期	当期	増減額	増減率
売上高	56,512	60,211	3,699	6.5%
営業利益	1,255	983	△271	△21.6%
経常利益	1,458	1,098	△359	△24.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,040	799	△240	△23.1%

親会社株主に帰属する当期純利益の推移



セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

<セグメント売上高>

(単位：百万円)

セグメント	前期		当期		増減額	増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比		
建材	32,908	58.2%	33,275	55.3%	366	1.1%
産業資材	13,536	24.0%	13,101	21.8%	△435	△3.2%
電子・デバイス	9,922	17.6%	13,688	22.7%	3,765	38.0%
賃貸不動産	144	0.3%	146	0.2%	2	1.8%
全社合計	56,512	100.0%	60,211	100.0%	3,699	6.5%

<セグメント利益>

(単位：百万円)

セグメント	前期		当期		増減額	増減率
	営業利益	構成比	営業利益	構成比		
建材	550	43.9%	238	24.2%	△312	△56.7%
産業資材	195	15.6%	2	0.2%	△193	△98.8%
電子・デバイス	427	34.1%	656	66.7%	228	53.4%
賃貸不動産	81	6.5%	87	8.9%	5	7.1%
全社合計	1,255	100.0%	983	100.0%	△271	△21.6%

①建材セグメント

建設資材関連分野は、地盤改良工事等においては低調に推移しましたが、建築資材については堅調に推移しました。太陽エネルギー関連分野は、太陽光パネル及び周辺機器の供給遅延の影響はあったものの、前年比で売上高は増加しました。断熱資材関連分野、住宅資材関連分野は概ね堅調に推移し、利益貢献がありました。業績拡大に向けた営業活動の増加、システム投資の増加、M&A実施に付随する費用の発生により販売費及び一般管理費が増加し、増収減益となりました。

この結果、建材セグメント全体の売上高は、33,275百万円（同1.1%増）、セグメント利益は238百万円（同56.7%減）となりました。

②産業資材セグメント

樹脂資材関連分野は、半導体不足の影響による自動車市場の回復が遅れ低調に推移し売上高は減少しました。繊維資材関連分野は値上げの影響による市場の停滞、需要減で低調に推移しました。また、業績拡大に向けた営業活動の増加、システム投資の増加、M&A実施に付随する費用の発生により販売費及び一般管理費が増加し、減収減益となりました。

この結果、産業資材セグメント全体の売上高は13,101百万円（同3.2%減）、セグメント利益は2百万円（同98.8%減）となりました。

③電子・デバイスセグメント

電子機器関連分野は、主力市場である民生電子機器市場、白物家電市場共に前年比で回復傾向にあります。マーケットでの価格競争は引き続き厳しいものの、新規受注の拡大及び円安の影響を受け増収増益となりました。

この結果、電子・デバイスセグメント全体の売上高は13,688百万円（同38.0%増）、セグメント利益は656百万円（同53.4%増）となりました。

④賃貸不動産セグメント

前期から保有不動産に変動はなく、売上高、セグメント利益ともに横ばいとなりました。

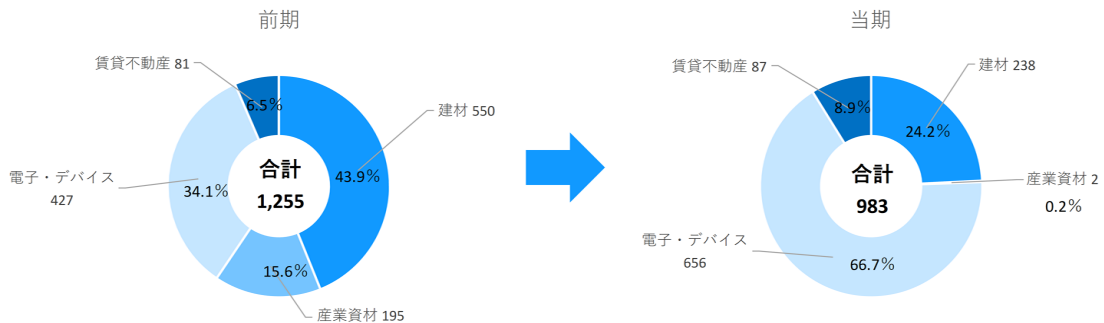
この結果、賃貸不動産セグメント全体の売上高は146百万円（同1.8%増）、セグメント利益87百万円（同7.1%増）となりました。

売上高、営業利益のセグメント別構成比は次の通りです。

<売上高>



<営業利益>



(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末は、流動資産は42,903百万円（前連結会計年度末比21.1%増）となりました。主な要因は、現金及び預金が1,334百万円減少し、一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が6,735百万円、商品および製品が1,489百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定資産は11,983百万円（同22.9%増）となりました。主な要因は、有形固定資産が341百万円、投資有価証券が1,691百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

流動負債は30,184百万円（同43.6%増）となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が3,064百万円、短期借入金が5,441百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定負債は5,594百万円（同1.4%減）となりました。主な要因は、長期借入金が180百万円減少したこと等によるものであります。

純資産合計は19,108百万円（同3.4%増）となりました。主な要因は、配当金の支払により利益剰余金が895百万円減少し、一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が799百万円、為替換算調整勘定が817百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

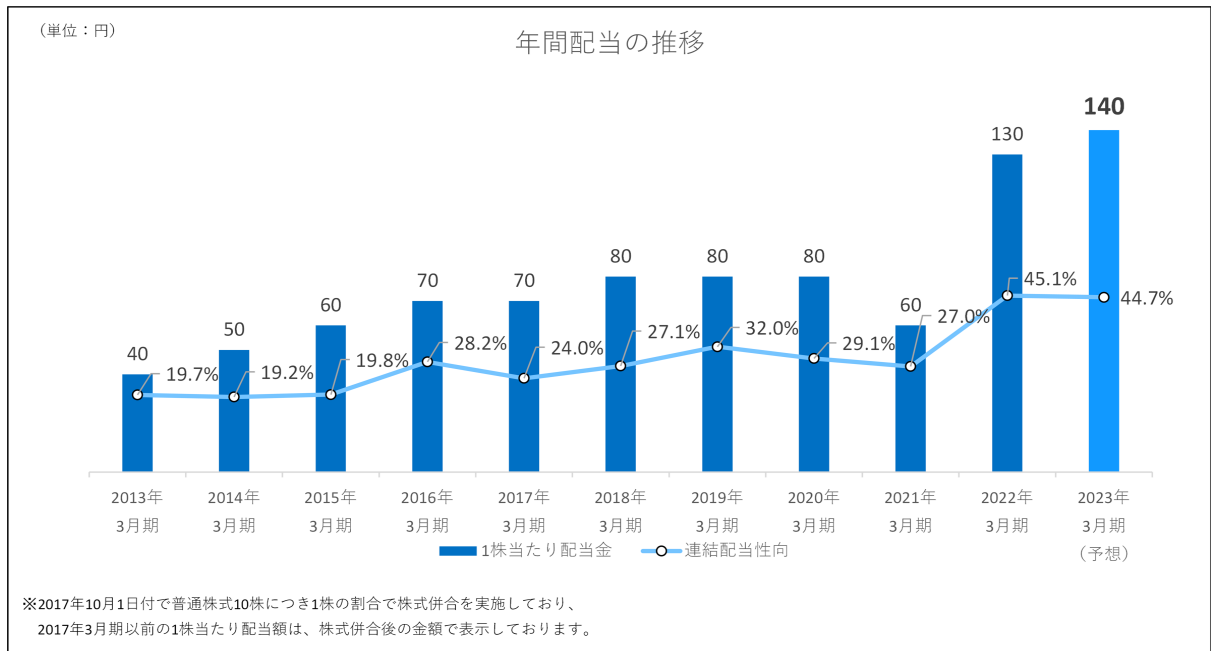
連結業績予想については、2022年5月11日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました2023年3月期通期の連結業績予想に変更はありません。

(4) 株主還元

当社は「戦略的投資を伴う持続的成長企業」を目指し、成長投資を拡大させる一方で、資本効率性を意識し、株主還元を実施することを基本方針とし、具体的には、連結配当性向40%以上の配当を每期行い、総還元性向50%を目標に機動的な自己株式の取得・消却を実施します。また、株主の皆様への安定的な還元を念頭に、総還元額の下限を5億円としています。

当期におきましては、1株当たり140円の配当（うち中間配当70円）を予定しており、親会社株主に帰属する当期純利益の予想1,400百万円を基準とした場合、連結配当性向は44.7%となります。

また、2022年11～12月にかけて、自己株式を99百万円買い付けており、親会社株主に帰属する当期純利益の予想1,400百万円を基準とした場合、1株当たり140円の配当と合わせ総還元性向は51.9%となります。



2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,305	5,971
受取手形、売掛金及び契約資産	22,292	29,028
商品及び製品	4,091	5,580
仕掛品	118	111
原材料及び貯蔵品	1,215	1,502
未成工事支出金	7	28
その他	440	744
貸倒引当金	△47	△62
流動資産合計	35,423	42,903
固定資産		
有形固定資産	4,252	4,593
無形固定資産	514	592
投資その他の資産		
投資有価証券	2,992	4,683
退職給付に係る資産	298	308
その他	1,872	1,966
貸倒引当金	△176	△161
投資その他の資産合計	4,986	6,797
固定資産合計	9,753	11,983
資産合計	45,176	54,887

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,123	17,187
電子記録債務	3,864	3,636
短期借入金	926	6,368
未払法人税等	384	217
賞与引当金	427	284
役員賞与引当金	35	32
その他	1,262	2,456
流動負債合計	21,024	30,184
固定負債		
長期借入金	3,360	3,180
退職給付に係る負債	68	77
その他	2,246	2,336
固定負債合計	5,675	5,594
負債合計	26,699	35,778
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,801	3,801
資本剰余金	1,725	1,728
利益剰余金	11,792	11,696
自己株式	△56	△137
株主資本合計	17,262	17,088
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	738	726
土地再評価差額金	417	417
為替換算調整勘定	36	853
退職給付に係る調整累計額	21	22
その他の包括利益累計額合計	1,214	2,020
純資産合計	18,477	19,108
負債純資産合計	45,176	54,887

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	56,512	60,211
売上原価	50,221	53,454
売上総利益	6,291	6,757
販売費及び一般管理費	5,035	5,773
営業利益	1,255	983
営業外収益		
受取利息	30	21
受取配当金	96	116
持分法による投資利益	—	12
為替差益	28	—
貸倒引当金戻入額	1	3
その他	98	97
営業外収益合計	255	250
営業外費用		
支払利息	17	31
為替差損	—	85
持分法による投資損失	8	—
休業手当	22	12
その他	4	6
営業外費用合計	52	135
経常利益	1,458	1,098
特別利益		
投資有価証券売却益	—	110
特別利益合計	—	110
特別損失		
固定資産除却損	—	25
固定資産圧縮損	—	7
特別損失合計	—	33
税金等調整前四半期純利益	1,458	1,176
法人税、住民税及び事業税	400	345
過年度法人税等	—	63
法人税等調整額	18	△31
法人税等合計	418	377
四半期純利益	1,040	799
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,040	799

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,040	799
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△222	△12
為替換算調整勘定	143	817
退職給付に係る調整額	△37	0
その他の包括利益合計	△116	805
四半期包括利益	923	1,604
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	923	1,604
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した、新型コロナウイルス感染症の影響の収束時期等を含む仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	建材	産業資材	電子・デバ イス	賃貸不動産			
売上高							
外部顧客への売上高	32,908	13,536	9,922	144	56,512	—	56,512
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	0	24	6	30	△30	—
計	32,908	13,537	9,946	150	56,543	△30	56,512
セグメント利益	550	195	427	81	1,255	—	1,255

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	建材	産業資材	電子・デバ イス	賃貸不動産			
売上高							
外部顧客への売上高	33,275	13,101	13,688	146	60,211	—	60,211
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	0	16	4	21	△21	—
計	33,275	13,101	13,705	151	60,233	△21	60,211
セグメント利益	238	2	656	87	983	—	983

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。